



690-2404

保護者の皆様
地域の皆様
本紙ご愛読の皆様

暑中お見舞い
申し上げます
県立三刀屋高等学校教職員一同



(来年は木次線開業百周年です)

全国切符を手にしてまもなく出発します!

MITOYA 2015 夏物語

ご期待ください



MITOYA

島根三刀屋
県立高校

蒼雲

学校だより
第97号

【発行所】
三刀屋高等学校
〒690-2404
雲南市三刀屋町
三刀屋912-2
TEL: 0854-45-2721
FAX: 0854-45-5630

【印刷所】
有限会社木次印刷
〒699-1312
雲南市木次町山方
630-5
TEL: 0854-42-8133
FAX: 0854-42-8155



祝

▼NHK杯全国高等学校放送コンテスト出場
藤原香玲羅(3年)
(東京都)
アナウンス部門

祝

▼全国高等学校総合文化祭出場
書道部 妹尾有真(2年)
(滋賀県大津市)

祝

▼インターハイ出場
少林寺拳法 門脇宥紀菜(2年)
(兵庫県姫路市)
女子単独演武

祝

▼インターハイ出場
女子ソフトボール部
(滋賀県守山市)

祝

▼中国選手権大会出場
水泳 吉川航輝(1年)
(広島市)
男子百m・二百m平泳ぎ



全日本吹奏楽コンクール
島根県大会(高校Aの部)
第97回全国高等学校野球
選手権大会 島根県大会



壮行式7/3

7/31 (金) 私たちに続け未来の三高生 三刀屋高校 オープンキャンパス

- 8:45~9:00 受付
- 9:10~10:00 全体説明
- 10:15~10:30 3年生の夏期補習参観
- 10:40~11:00 1年次の授業「産業社会と人間」について生徒発表
- 11:15~11:45 模擬授業
- 11:55~12:30 部活動見学
- 12:30 アンケート記入

広島・長崎被爆70年 「永井隆記念館」無料開放! (平成27年7月1日~8月31日)

つながろう三高
つながろう雲南

如己愛人

ダニエルさんとつなぐ
平和への祈り

広島平和記念公園に

ある原爆の子の像のモデルとなった佐々木禎子さんは、白血病を患い、被爆10年後に12歳

で亡くなるまで鶴を折り続けた▼終戦から50年以上を経て、米国人ジャーナリストのダニエルさんは、禎子さんの兄雅弘さん(NPO法人サダコレガシー代表)から広島訪問を電話で打診される。悩んだ末、それからさらに10年後に初めて雅弘さんと面会し、2012年の広島原爆の日の平和式典に初めて参列した▼核兵器廃絶に向けて少しでも貢献することが自分の使命と決意していたダニエルさんは、次のように語った。「(祖父は)私に戦争や核の話をした事はなかった。……葛藤がある中で決断したのだと自分も思う。「祖父は原爆の破壊力に戦慄した」とも。祖父の苦しみも感じていたというダニエルさんはさらに、「私が広島に来るのは一部の人には心地が良くない、心の痛みを伴うものだろうが、私は責任感を持って、核兵器を二度と使用させないように少しでも貢献したい」と決意を述べた▼彼の祖父の名はハリー・S・トルーマン。広島長崎への原爆投下を命じたトルーマン元大統領だ。その孫のダニエルさんの平和式典参加については反対の声があるのも事実だが、皆さんはどのように感じるだろうか▼憎しみは戦争を繰り返した。私にとっても、父を死の淵に追い込んだ原爆投下の事実には許しがたいものではあるが、憎悪の再生産と連鎖が世界を覆う今、戦後生まれの我々が平和のためにつながる世界を築かなければならない▼戦後70年、「如己愛人」の言葉を一層重く受け止めたい。今年も8月6日を送り、本校JRC部員は千羽鶴を広島に送り、平和への祈りに思いをつなぐ。

(編集長記)



放送

1

あっぱれ

予選通過を経て
上位大会の結果 123

藤原さん(3年)

兼第62回NHK杯全国放送コンテスト県予選

高校放送コンテスト鳥根県大会



全国大会出場を決めた藤原さん

2年ぶりの全国切符

アナウンス部門

6月の高校放送コンテスト県大会には、前月の松江地区予選を突破してアナウンス部門に藤原香玲羅さん(3年)と高見ひのめさん(1年)の二人が出場。このうち藤原さんが見事、同部門3位入賞を果たし、今月21日から東京で開催される第62回NHK杯全国高校放送コンテストへの出場を決めた。自身、1年次に

放送部制作番組

「永井隆博士」を上映

▼7月15日(水)、16日(木)12時50分、小講義室1
放送部は今週、平成24年制作のオーディオビジュアル作品「追想 永井隆博士」を校内で再上映した。

番組制作は、コンクールに出品することが本来の目的ではない。飾っておくものでもない。その「働き」が大切だ。今回は「永井隆平和賞」への応募時期にあわせ、改めて博士の足跡と思いを感じ取ってもらおうための上映とした(市外出身者には特にお薦めでした)。

CHESS2015

ESS

7/11

県教委が主催する島根県高校生英語セミナー「チェス」がJR大田市駅前の「あすてらす」で開催された。



参加者全員で記念撮影

柔道

2 中国大会

(6/13、カメラリーナ)

▽男子百kg級

奥井大勢(3年)

1回戦敗退

4月の県予選を経て出場した奥井さんだったが、準優勝選手との対戦で初戦突破はなかった。

なお、来年夏の全国高校総体(インターハイ)は、岡山県をメイン会場に中国五県で開催される。島根県では5競技の開催が予定されており、今大会と同じ県立浜山体育館(カメラリーナ)で柔道も地元開催となる。

ソフトテニス

3 山陰大会

(6/13、松江市総合運動公園)

昨年までは5月上旬の開催時期を6月に移し、高校生は鳥取・島根両県の県総体ベスト32以上のペアがエントリーして開催された。

本校からは男子の梅木・小池の3年生ペアが出場。初戦突破はならなかったが、高校入学後からソフトテニス競技を始め、県総体ベスト32入りを果たした両選手の健闘を讀みたい。

▽高校男子個人

三刀屋2 (4)鳥取湖陵

梅木大喜(3年)

小池祐介(3年)

夏の三高

青少年赤十字春季協議会



生徒さん3名(三刀屋高校)の代表として、赤十字の国際救援活動に参画した。

事務局校として大会を企画・運営

JRC

被爆地広島へ今年も千羽鶴

(6/17、出雲市民会館)

県内16校から150名のJRC部員が参加して標記協議会が開催され、本校(部員8名)は事務局校として企画運営の中心として活動した。午前中の松近真紀氏の講演「赤十字の国際救援活動」、



色紙で鶴を折るJRC部員

スタディセンター(中央リサーチ)報告に続き、午後からは県内三つのブロックに分かれて分科会を開き、各校が活動内容を紹介した上で、ブロック毎の活動計画も話し合った。

バレーボール

健闘の第3位

第14回全日本ビーチバレーシニア男子選手権県予選

日本バレーボール協会が主催する標記大会が7月5日、浜田市の石見海浜公園で開催された。大会は15歳以上19歳未満の2人1チーム、240cmのネット高で行われ、本校からは男子バレーボール部の

3年生2名が初参加し、見事3位入賞を果たした。男子バレーボール部は部員不足のため、昨年度から単独チームでの試合出場ができず、安来市の情報科学高校との合同チームで出場することもある

だが、同校が新入部員を確保してチームを組めるようになったため、本校は6月の県総体への出場も断念せざるを得なかった。このため、3年生として最後のプレーを今大会への出場となった。



①亀山集也さん(3年)
②遠藤一希さん(3年)

10th
Happy Graduation

島根県高等学校文化フェスティバル

演劇部門を代表して三刀屋高校が発表しました

演劇 「椰子の実とオニヤンマ」

脚本：亀尾佳宏(掛合分校教諭) **7/11(土)**

プラバホール(松江市)



きみの宝島が見えてきます

見逃した方は、明日からの公演を！

特選
「お喋り」
小池ななみ(2年)



特選
藤原 蘭琳(3年)
「ゆうがた」

特選となった作品は、年末に開催される島根県高校写真展への出品資格を取得。

入選 9名(13点)

写真

高文連春季写真コンクール

(6/12、ビッグハート出雲) 標記コンクールには本校からは写真部員15名がデジタルカラー作品計55点を出品し、6月12日(金)に開催された審査結果の発表会・講評会に参加した。

【審査結果(本校関係分)】

小池ななみ(2年)
「お喋り」
板持乃野可(2年)
「往年」
福岡 由菜(2年)
「チヨーク」

三高演劇部 「椰子の実とオニヤンマ」自主公演

入場無料

▶日時 7月18日(土) 14:00~
7月19日(日) 10:00~
14:00~

▶会場 チェリヴァホール(JR木次駅前)



「益田さいえんすたうん2015」内容
7月4日(土)会場：グラントワ(益田市)

講演 縣秀彦氏
(国立天文台天文情報センター准教授)

■小中学生向け「科学ショー」等
■高校・大学・企業による「ポスター発表・展示」他

「益田さいえんすたうん」が7月4日(土)、今年も益田市のグラントワで開催され、本校からは自然科学部員6名が参加した。このイベントには県内の理系高校生等が集い、講演のほかに各種実験・コンテストも行われている。

自然科学

高文連自然科学部門実験観察研修会

(6/12、13、出雲市)

県内13校の自然科学部員69名が参加した標記研修会が出雲市内で開催され、本校からも5名の部員が参加した。

出雲科学館では、普段体験できない化学実験(ニッケルめっき、生物実験(発酵の化学))に取り組み、宿舍のサン・レイクでは好天にも恵まれて天体観察を実施した。普段手にすることができない高倍率の天体望遠鏡を自分たちで操作し、金星・木星・土星、織姫と典彦星が再会を待ちわびる天の川等を観察した(写真上)。

「益田さいえんすたうん2015」
—今年も「ゆつくり落としてみよう」に挑戦—

図書委員会

大型書店で
購入希望図書を選定

期末試験最終日となった6月30日の午後、図書委員8名が今井書店出雲店(出雲市高岡町)に出向いて、豊富な在庫の中から高校生活に必要な図書を選ぶ体験を行った。

なお、図書館では普段からリクエスト本を受け付けている。読みたい本が館内がない場合には、図書委員が司書さんに問い合わせを。

1年生チームが5位(32チーム中)

今年の「ゆつくり落としてみよう」は、発泡スチロールの球体にA4判の紙一枚を自由に細工して落下させるといった内容。1年生チームが見事5位入賞を果たした。




今年も高所恐怖症に耐えながら

吹奏楽

吹奏楽コンクールを前に



雲南バンドフェスティバル
2015年 7月12日(日)

雲南圏域の中高14校が出演しました
ご来場ありがとうございました

3年

進路講演会

7/9



今年も香川大学の山崎裕正教授に「賢い大学、学部選びの方法」「一般試験で国公立大合格の方法」「推薦・AO入試対策特別講座」を2時間にわたってお話しいただきました。説得力ある分かりやすい説明に、生徒も決意を新たにしたようです。

講師/山崎裕正氏 (香川大学教授)

雲南管内企業見学

7/2

島根大学説明会

7/23

大学等説明会

6/27



大学等30校の担当者が来校し、学校ごとのブースに分かれて説明会を実施しました(写真は総合学科棟大講義室)。

なお、10月実施予定の事業所インターンシップは、昨年実績で雲南市内外の60を超える事業所で受け入れていただいています。地域の皆様のご理解とご協力のお蔭です。今年もよろしく願います。また、今月15日にはアカデミックインターンシップ(広島大学訪問)も実施しました。9割が進学する本校生徒にとつて、この二つのインターンシップを両輪として自分の進路を考える一助としています。

1年

地域産業研究

科目「産業社会と人間」



1年生は4月のフレッシュマンセミナー(三瓶、2泊3日)での「仕事調べ」に続き、6月には地元雲南市から右のお二人の講師をお招きして雲南市の魅力と課題について考えました(写真)。

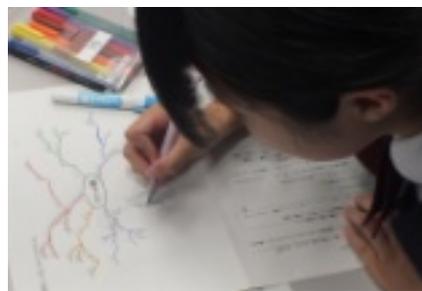
「雲南市について」地域の課題を解決する処方箋

講師 ▽渡部 喬氏(雲南市産業振興課) ▽北湯口 純氏(雲南市身体教育医学研究所)

さらに一学期後半は班に分かれて、さまざまな産業・職種での地域を元気づけるアイデアを話し合いました。これらの学習活動は、秋の事業所インターンシップ(地域産業研究実習)に向けた準備でも

あります。基本的には自分たちが関心を寄せる業種について調べながら、同時に雲南市の抱える課題も認識することとなります。また、他班のアイデアを見聞きして新たな関心を広げていく機会ともなりました。各班が模造紙にまとめたものは今後、総合学科棟の廊下に掲示することとして

あります。基本的には自分たちが関心を寄せる業種について調べながら、同時に雲南市の抱える課題も認識することとなります。また、他班のアイデアを見聞きして新たな関心を広げていく機会ともなりました。各班が模造紙にまとめたものは今後、総合学科棟の廊下に掲示することとして



たたら製鉄をテーマにマップを作成する生徒

道を拓く1学期後半

県総体終了後の1学期後半は、LHRや総合的な学習の時間等を利用して、毎年様々な講演会や進路・キャリア教育関連のプログラムが設定されています。



1年

科目「現代社会」/いのちの学習会

7/6

改正臓器移植法施行5年

臓器移植に関する出前授業



改正臓器移植法が施行されて本日17日で丸5年となるのを前に、1年生を対象に「しまねまごころバンク」臓器移植コーディネーター川本奈津子氏を講師にお迎えして「臓器移植に関する出前授業」が行われました。

現代社会の授業で学習した「生命倫理」「臓器移植」についての理解を深め、生命倫理の問題を自らの生き方の問題ととらえ、考察を深めることを目的として実施しました。

「いのちの学習会/生徒の感想」
「これで生きていけない」「この言葉が深く心に残りました。」「死してなお、どこかで誰かの一部となって生きていく」その言葉は、私の死のイメージを変えました。死(脳死)は、判断によっては生に

つながることを、今回の講演で学ばせていただきました。臓器移植によって元気になった男の子の言葉が胸を締め付け、「こんなにいのちは重いんだ」と再認識することができました。(1年女子)

2年

マインドマップ作成

2年生は「総合的な学習」とLHRを利用し、今学期初めの「キーワード調べ」を掘り所に課題研究のテーマを設定。6月には調べ学習や小論文を作成するための土台となる構想図的「マップ作り」に挑戦しました。

希望訪問先は班ごとに生徒自身が選び、電話やメールによるアポ取りも生徒自身が行っています。諸般の事情から断られることもありすが、交通事情(移動時間)も考慮しながら二か所の内定を得るために生徒も必死です。今も連絡待ちの班もありますが、一つひとつハードルをクリアして実り多い研修となることを期待しています。

東京研修アポ取り

2年

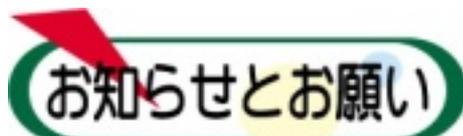
10月の東京研修の班別自主研修では、訪問先の企業や大学等で課題研究テーマに沿って現状や課題、取り組み状況などを聞き取り調査することとしています。



職員室の受話器を手に、見えない電話相手に頭を下げる姿から緊張感が伝わります。

日	曜	学校行事等	部活等
20	月	海の日 PTA木次地区パトロール	
21	火	特別時間割(～24日) 1・2年生保護者面談(～24) 3年生三者面談(～31)	7月
22	水		
23	木	PTA会報発行 島大説明会 1年桐原小論文模試	
24	金	終業式(午後) 学園祭分団集会	
25	土	PTA三刀屋地区パトロール 3年桐原小論文模試	水泳中国大会
26	日		
27	月		
28	火	3年夏期補習	
29	水		
30	木		全国高総文祭(書道)
31	金	オープンキャンパス (中学生対象)	全国高校総体(少林寺) (～8/2)

日	曜	学校行事等	部活等
1	土	3年大学別オープン模試①	
2	日		吹奏楽
3	月		全国高校総体(ソフト)
4	火	3年集中学習会	文芸 書道
5	水		文芸
6	木	3年全統M模試	
7	金	3年全統M模試 就職・公務員ガイダンス 就職・公務員模試	
8	土	3年大学別オープン模試②	閉寮
9	日		
10	月		
11	火		バレー
12	水		バレー 家庭クラブ
13	木		
14	金		
15	土		
16	日		閉寮
17	月		
18	火		
19	水	始業式 特別時間割(～26) 課題テスト 学園祭準備(7限～)	
20	木	1・2年生スティーサート 学園祭準備(午後)	卓球
21	金	学園祭準備(午後)	
22	土	出校日 学園祭準備(午後)	野球
23	日	PTA環境美化ボランティア	野球
24	月	代休日	
25	火	学園祭準備(午後)	
26	水	学園祭準備(全日)	
27	木	学園祭準備(全日)	
28	金	学園祭/文化祭①	8月
29	土	学園祭/文化祭② PTA模擬店	
30	日	学園祭/体育祭	
31	月	代休日	
1	火	代休日	



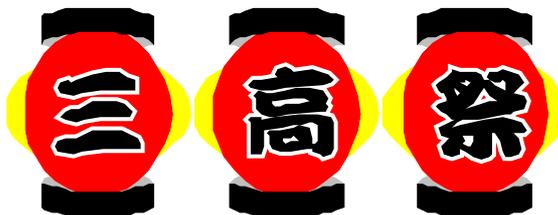
保護者の皆様へ

地区PTAへのご参加 ありがとうございました

引き続きPTA活動、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いします

- 1 夏祭りパトロール お世話になります
- 2 保護者面談 (3年は三者面談)
- 3 三刀屋高等学校 学園祭

ご案内



- 8/28 (金) 文化祭1日目 文化体育館アスパル
- 8/29 (土) 文化祭2日目 三刀屋高校 
- 8/30 (日) 体育祭 三刀屋高校グラウンド

PTA模擬店が今年も楽しみです
学園祭に係る出校日と代休日にご注意ください

4 環境美化ボランティア活動 へのご協力をお願いします

今年も環境美化ボランティア活動へのご協力をお願いします。学園祭を前にした8月23日(日)に実施の予定です。今後、参加者の取りまとめは各支部単位でお願いすることとしております。ご多忙のところを恐縮ですが、よろしく願い申し上げます。

5 緊急連絡などのメール配信 『三高メール』の登録について



再度のお願いです!

本紙でも度々お願いしております『三高メール』システムへのアドレス登録が、相変わらず低調です。登録はあくまでも任意ですが、いざという時のために備えていただければ幸いです。なお、登録が完了(成功)した皆様には「『三高メール』運営に関して」と題するメールが届きます。手順に従って空メールを送ってもこのメールが届かない方は、受信制限の設定がしてある可能性があります。設定解除の方法が不明の場合は、購入先にお問い合わせください。

三高新時代への胎動 地域とともに



地域でつなぐキャリア教育モデル事業実践校

※ 島根県東部の全市町と接する雲南市。ここは現代出雲国の中心!!

シリーズ 第13回 雲南管内企業見学

(3年生26名・1日で5社を訪問/大変お世話になりました)

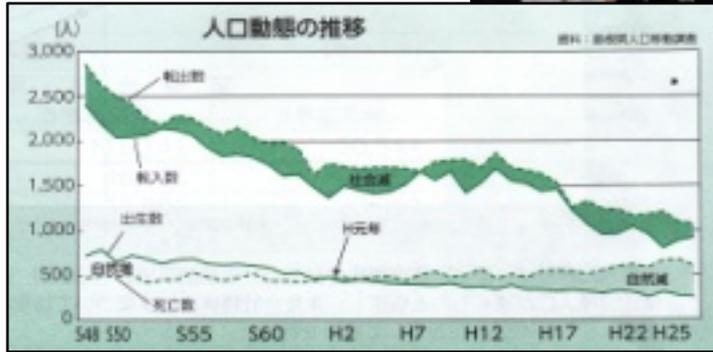
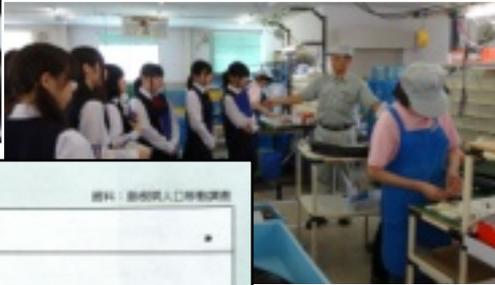


本校への求人数(過去5年分)

年度	H26	H25	H24	H23	H22
県内	99	79	59	67	45
県外	266	236	158	131	144
計	365	315	217	198	189



高校での求人受付が始まった翌日の今月2日(木)、3年生の就職志望者26名が雲南管内の企業見学を行った。受験志望企業決定のための参考にしてもらおうと、ハローワーク雲南・しまね産業振興財団のご協力を得て、管内の製造業5社を訪問するハードなスケジュールながらも、百聞は一見に如かずの貴重な一日となった。



↑雲南市報7月号より転載

人口および社会動態の推移と推計
(雲南市報7月号より転載)
雲南市の人口は自然減と社会減により、減少し続けています。特に、市内に高等教育機関がないことから、18歳から22歳にかけての転出がすすみ、その後のUター

関がないこと、18歳から22歳にかけての転出がすすみ、その後のUター

直近の国立社会保障・人口問題研究所の試算によると、第2次雲南市総合計画の最終年度となる平成36年には35,029人となり、さらに平成52年(2040)には27,670人になると推計されています。

三高生に告ぐ
読んでいますか?雲南市報
見えますか?雲南市HP
市役所フェイスブックで
雲南の今が見えます
▽特に、「地域産業研究」に取り
組む1年生の皆さんにとって、市
の広報ツールは生きた教材です。
わざわざ調べ学習の授業時間にか
しこまって見ずとも、自宅でもよ
つとした時間に斜め読みするのも良
いでしょう。ヴィンターネットの
普及もあって今や大抵のことにつ
いて情報を得るのは簡単ですが、
それを活用することが肝要です。
活用するためには積み重ねた知識
が必要です。日々の学習の積み重
ねが大切ですね。

地元事業所を見学させて
いただくたび、「こんな近
くに、こんなすごい会社が
あったとは!」とびつくりさせられる。
ただ、中国横断自動車道尾道松江線が全通して
陰陽の連絡が格段に整備されたと言っても、企業
経営特に雲南圏域の柱といえる製造業各社の立地

地元企業を知る必要の高まり

立地条件でハンデを負う分、国内他社と同じよ
うなことをやっていると生き残れないはずだ。輸
送コストに関するハンデは特に大きいだろう。そ
のため、雲南圏域の「モノ作り」製造業の分野に

おいては、例えば海外への輸出で存在感を増し輝
いている事業所もある。
現在の三高の就職希望者の大半は、自宅から通
勤できる地元就職志望だが、この中山間地の人口
を維持して地域力を増すには、実は県外上級学校
に進学した後の20歳代の若者にいかに故郷の働く
場に向いてもらうかにある。雲南市報7月号は、
地方創世の必要と課題を市民に訴え、この問題も
明記している。上級学校への進学志望者も高校卒
業までに、地元企業をもう少し知る仕掛けづくり
が必要になってくるだろう。少子化による売り手
市場の傾向が進めば、その必要性は一層高まる。

通学途上で目にする会社が何をしている会社なのか、何を作ってい
る会社なのか、身近にありながらもそれを知らない高校生は意外と少ない
かも。国内シェアでは日本一、「F1の車にも使用されて
いる」等々の説明を聞けば、高校生だって気になる!もつと知りた
い!知らなかったそんな会社もつとあるかも!地元就職へ

条件は決して恵まれているとは言
えない。地域の雇用を守るために
先人の並々ならぬ努力が結実して
存続していることを忘れてはなら
ない。

2年目 スタート!

地域でつなぐキャリア教育モデル事業

「自分をつくる楽校」

▼自分をつくる楽校とは? ↓20~30代の様々な職種の若手社会人
たち(3年前に「アラレ」結成)の経験を、ワークショップ形
式で中高生に伝えます。単なる職業紹介にとどまらず、働くこと
の意味や目的、それぞれの生き方を伝え、生徒の思いも引き出し
ながらコミュニケーション能力の向上にもつなげます。

アラーレ特別授業/参加者募集中!

第1回
7月25日(土)

終戦から70年 終戦から70年 終戦から70年 終戦から70年 終戦から70年 終戦から70年 終戦から70年

さんこう 三高91年物語

終戦から70年 第14回 いじめも戦争も 何があったかを知ることが大切ではないでしょうか



昭和20年7月28日、斐川・玉湯・安来・大山口で甚大な空襲被害

▼現在の出雲市斐川町で、太平洋戦争末期に海軍が旧新川の河床を利用して滑走路を建設したのが、今も残る新川基地跡だ。場所をカモフラージュするために大社基地とも呼ばれた。昭和20年7月28日の空襲ではここも標的とされ、その東にある現在のJR新川鉄橋には、当時の弾痕が今も残る(写真)。

▼松江市玉湯町の湯町ではロケット弾の直撃を受けて24人が死亡、

▼同日正午頃には、直江駅発の列車が安来の町を通過中に空襲を受け、日立山工場・海岸工場をはじめ市街地の工場、港湾、民家も

被害を受けた。

▼午前7時15分、鳥取発出雲今市行き11両編成の列車が大山口駅に着くと同時に、多数の機影が現れた。米軍の空襲だ。列車は、線路の両側を土手に挟まれた退避所まで約600メートルバックしたが、3機から銃撃を浴びた。前2両は南方戦線から引き揚げてきた傷病兵ら、3両目以降は勤労学徒や国民義勇隊員らで満員だった。確認されただけで死者45人、負傷者31

『山陰中央新報』6月25日付け1面では、湯町基地空襲に関する詳細記事が紹介され、米軍「ガンカメラ」による空爆の瞬間をとらえた画像(最近の調査で発見)が掲載されました。

名古屋で再び旧制三刀屋中学の生徒が空襲で犠牲になった報が入ったその翌日の昭和20年7月28日、現在の米子市から出雲市にかけて、山陰地方では最悪の空襲被害が続いた。もっと早くに敗戦を受け入れていけば沖繩戦の地獄も、原爆の被害も、満州残留孤児の悲劇も、そしてこの7月28日の山陰の悪夢も無かっただろう。

30余人が重軽傷。近くに疎開していた山本健吉(俳人)が乗る列車も機銃掃射で14人が死亡、14人が重軽傷を負った。当時の新聞によると、この日やつてきた米軍機は延べ260機。島根県内では、玉湯町湯町の空襲被害が最悪のものとなった。当時の一般市民は知らなかったが、湯町の宍道湖岸(元旅館八勝園付近)に海軍航空隊基地が建設中で、これを狙った攻撃だったらしい。

▼午前7時15分、鳥取発出雲今市行き11両編成の列車が大山口駅に着くと同時に、多数の機影が現れた。米軍の空襲だ。列車は、線路の両側を土手に挟まれた退避所まで約600メートルバックしたが、3機から銃撃を浴びた。前2両は南方戦線から引き揚げてきた傷病兵ら、3両目以降は勤労学徒や国民義勇隊員らで満員だった。確認されただけで死者45人、負傷者31

人。列車への空襲としては、同年8月5日に東京都八王子市で50人以上が犠牲になった湯の花トンネル列車銃撃事件に並ぶ大惨事だった。

まもなく 鎮魂の7.28

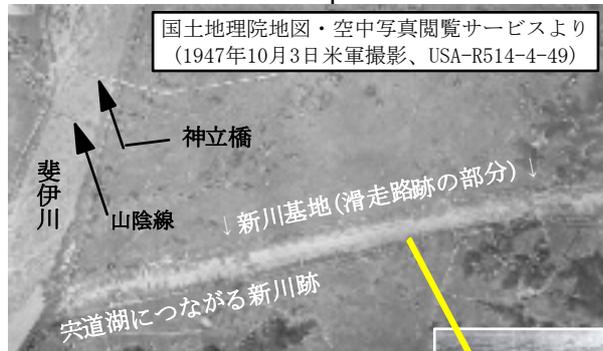
終戦のわずか半月前、山陰地方では戦時中最悪の空襲被害が

本紙6月第96号で紹介した飯梨川河口の川違えと同じように、航空写真でクッキリと視認できるのが出雲市斐川町の新川の跡だ。現在の斐伊川放水路の対岸、出西から出雲空港までの幅150×250m長さ約10kmに及ぶ新川は、江戸後期の天保年間に造られ、莫大な土砂を下流に運んで斐川平野を宍道湖側へ数kmも前進させたという。しかし、新川も河床が周辺より2

〜4mも高い天井川となったため、昭和14年(1939年)には早くも役目を終えて廃川となった。戦後は耕地や道路、工業用地、住宅地等に利用されて今日に至るが、終戦末期の昭和20年春に突貫工事で行った海軍「新川基地」の飛行場跡が、航空写真のように今もその姿を遺している。つい最近まで「陸上自衛隊出西訓練場」として使用された。

斐伊川今昔物語 第12回 斐伊川水系の「川違え」② 新川

←今も残る弾痕 JR山陰本線新川鉄橋。戦前は川の上に架かっていた。橋の直下を掘り下げて車の通過が可能となっている。



錦織良成監督映画『たたら侍』を勝手に応援するシリーズ

←写真提供/国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所

一健闘を祈ります&ご声援をお願いします

全国高等学校総合体育大会



女子ソフトボール

<初戦の対戦相手>
 ■ 県立笠田高等学校(和歌山)
 と 県立読谷高等学校(沖縄)
 の勝者
 ■ 日時: 8月4日(日)11時~
 ■ 守山市立守山中学校
 グラウンド(滋賀県)



少林寺拳法競技

女子単独演武
 門脇有紀菜(2年)
 ■ 7/31(金)12:15 女子単独演武予選
 ■ 兵庫県立武道館・グローリー道場



▼ 会場/出雲市民会館大ホール
 ▼ 三高演奏開始時刻/11時55分(予定)
 ▼ 演奏曲
 課題曲 マーチ「春の道を歩こう」
 自由曲 鳥之石楠船神(とりのいわくすふねのかみ)
 吹奏楽と打楽器群のための神話
 ▼ 入場料/高校生千円 大人千五百円
 (県民会館・出雲市民会館等で販売)
 完売が予想されますので、
 お早めにご購入ください。()

8月2日(日)

▼ 高校Aの部(25名~55名)
 高校Aの部では今大会最少の31名での出場ですが、
 心を一つに、最高のサウンドを響かせたいと思います。

吹奏楽部

全日本吹奏楽コンクール鳥根県大会

野球

第97回全国高等学校野球選手権 島根県大会 7月14日~26日

<初戦=2回戦の対戦相手>
 ■ [益田東高 対 出雲商業高] の勝者
 ■ 日時: 7月19日(日) 第1試合10時~
 ■ 会場: 松江市営野球場



雲南市、奥出雲町、飯南町 地域の皆様にもお世話になります



※ 来夏夏の全国高校総体(インターハイ)は岡山県を中心に中国5県で開催されます。島根県内では体操、新体操、柔道、ボート、テニスの5競技が開催されます。

※ 三刀屋高校は、雲南地区(ボート競技)高校生活動の拠点校として全国からのお客様をお迎えします。



来夏

全国高校総体ボート競技

さくらおろち湖(尾原ダム、雲南市・奥出雲町)

実行委員会設立総会が開催されました

会長/速水雄一氏(雲南市長)

平成28年夏
 7月28日(木)から
 8月1日(月)まで

参考

昨年8月に校内で発見された「火縄式鉄砲」



「雲生作」の銘あり

注目の鑑定やいかに?

昨年夏に本校の某所から発見された古式銃(昨年10月発行の本紙88号で紹介)が、7月1日の県の鑑定によって松江藩鉄砲隊が使用していたものと同じであることが判明した。今後は本校記念館「蒼雲館」に展示される。



櫻井家の可部屋集成館の展示案内(奥出雲町上阿井)

江戸時代からたら製鉄で鉄を作っていた櫻井家は、松江藩より鉄師頭取を任命されました。その中でも鉄砲に使う板鉄は「菊」と呼ばれ、最も良質な鉄として評価を得ていました。それが近江の国友鉄砲の鍛冶によって、火縄銃の原料として使われていました。その歴史を「可部屋が伝える」鉦・たたら」と文化」松江藩・国友鉄砲・櫻井家の物語り」と題して展示しています(可部屋集成館HPより)。

夏祭りのシーズンとなりました。特にお盆までは各地で伝統的な祭りや、地域おこしから生まれた新しいイベント等で賑わうことでしょう。ボランティアの皆さんに支えられる場も少なくないでしょう。お客様として参加するだけでなく、ホスピタリティをもってお迎えする立場ともなっており、学校でも地域でも輝く三高生の姿を期待したいと思います。(編集長記)



追伸: 夏祭りに欠かせないのが打ち上げ花火。裸の大将こと山下清画伯は自らの代表作にもつながった「長岡の花火」が大好きで、絵葉書に書き込みました。

「世界中の爆弾を花火に変えて空に打ち上げたら、世界から戦争がなくなるのかな」

